

## 授業特別協力者(ゲストスピーカー)報告書

---

テーマ : レゴ(R)シリアスプレイ(R)で学ぶ「コンピテンシー」と「チーム力」  
授業特別協力者名 : 鈴木 篤司 氏 (特定非営利活動法人 THOUSAND-PORT 代表理事)  
実施日時 : 2023年5月15日(月) 2時限  
担当教員名 : 齋藤 正武  
科目名 : ベーシック演習 I  
履修者数 : 18名

### 実施結果

経済産業省は、若い職業人が身につけるべき「社会人基礎力」として、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力を提唱している。中央大学でも以前からC-Compassを用意してキャリア意識の形成で役に立っている。上記にあげた3つの能力の中で最も内包する能力要素が多いのが「チームで働く力」であるといわれているので、本授業では、チームビルディングやキャリアデザイン等に博報堂など多くの企業で導入されているレゴ(R)シリアスプレイ(R)というメソッドを用い、「相互理解による協働」「利己から利他」「自分ごとからチーム事」への転換へのアウェアネスを得ることを目的にした。

今回の講演(ワークショップ)では、チームで問題解決をする為に必要な「在り方」に気づき、通常の授業では味わえない経験をさせることができた。学生の目は生き生きとしており、自ら発言していく積極的な行動が見て取れた。授業の中で、C-Compassの7つのコンピテンシーを利用しながら進めていただいたので、キャリアセンターが実施しているワークショップと同様の価値があった。時間が足りなかったが、最後のテーマは「架空のインターンシップでの最強のチームをつくるために一人ひとりがチームに果たす役割をLegoで考える」というもので大変面白い発想が生まれていた。

研修のコンセプトが、考えすぎずに手に作業をしてもらう、という右脳で考えていくこと、また、自分で作った作品に対して、「言語化」という通常あまり体験しないことが問われており、いつも利用している脳とは違う体験をしていた。

最後に各自でマインドフルネス、セルフリフレクションの時間があつたのも、大変良い経験になった。Basic演習でまだまだ大学生としての経験は浅い中で、このワークショップを機に、前のめりの生活にマインドチェンジが出来たのではないかと感じた。